

8月17日火・18日水

国際ホテル旅館創刊500号 記念セミナー

オンライン配信※日程を変更しました

8月26日木・27日金

開催概要

【リアル受講】

会期：2021年8月17日(火)・18日(水) 10時00分～16時00分
1日4講座、合計8講座を開講。

会場：東京都立産業貿易センター浜松町館 4階会議室
(ゆりかもめ竹芝駅から徒歩2分、JR浜松町駅から徒歩5分)

同時開催：東京プライダルアカデミー(プライダル産業新聞社主催)

【オンライン受講】

会期：2021年8月26日(木)・27日(金) 10時00分～16時00分
Zoomのウェビナー機能による配信を予定しております。

料金

【リアル受講】

1日4講座 購読2000円(税別)、未購読3000円(税別)

【オンライン受講】

1アカウント 購読7000円(税別)、未購読9000円(税別)



詳細・お申し込みは本紙webサイトへ

https://ihr-news.jp/event_info/21081718seminar/

国際ホテル旅館編集部は、8月17日(火)・18日(水)の2日間、東京都立産業貿易センター浜松町館(東京都港区)で、創刊500号記念セミナー「日本の宿泊産業 反転攻勢の第一歩」を開催します。コロナ禍収束後の旅行需要回復を見据えて動き出す、あるいは新たな宿泊経営の構築に挑戦する国内宿泊業界のキーパーソンにお話しいただきます。講演は会期当日にセミナー会場で直接受講する【リアル開催】と、後日アーカイブ映像を配信する【オンライン開催】の2種類を用意。全国の皆さんのご参加を心からお待ちしております。

※開催・講演内容は都合により変更する場合があります。



8月17日火 / オンライン8月26日木

10時00分～11時00分

宿泊予約センター ミナモ 代表取締役 小池道隆氏



生産性向上の特効薬「予約業務アウトソーシング」とは

電話やメール、OTAや公式サイトの間合せフォームなどのあらゆるチャネルから、日々寄せられる宿泊予約や施設利用・プランに関する質問や問合せ。昨年以降、こうした問合せは増加傾向にあり、スタッフの人数が絞られる状況と相まって現場

の負担増が課題となっている。宿泊予約センターミナモ(東京都千代田区)代表取締役の小池道隆氏は、この解決策として「予約業務アウトソーシング」を提唱。導入ホテル・旅館の業務改善事例を交えて紹介する。

8月18日水 / オンライン8月27日金

10時00分～11時00分

ホテルマネージメントジャパン 代表取締役 荒木潤一氏



マルチブランドオペレーターの強み活かす
組織のブラッシュアップと新規出店進める

今夏、新チェーンブランド「オリエンタルホテルズ&リゾート」を立ち上げたホテルマネージメントジャパン(東京都渋谷区)。ホテルが地域の文化や魅力を掘り起こす・活かす・創造することで、独自性のある滞在体験の提供を目指す。同社はオ

リエントナルホテルズ&リゾートの15ホテルのほか、国内外のホテルブランドのFC運営なども手掛けるマルチブランドオペレーターとして、様々な地域・業態のホテルを運営してきた。この豊富な経験を踏まえた同社の運営力の源泉に触れていく。

11時30分～12時30分

観光品質認証協会 統括理事 北村剛史氏



ホテル・旅館のための衛生管理認証「A Clean Practice」

観光品質認証制度のSAKURA QUALITY(サクラクオリティ)は、ホテルや旅館に専門家の科学的知見に基づく衛生管理の実践マニュアルを提供している。コロナ禍の長期化を見据え、ホテル・旅館が感染拡大防止対策に継続的に取り組み、安

心・安全な拠点としての役割を果たすことを支援。旅行者の受け入れ再開を見据えた都市型ホテルや地域観光の中核を担うリゾートホテルなどが認証「A Clean Practice」を相次いで取得している。

11時30分～12時30分

アツアブロイグローバルソリューションズジャパン 代表取締役社長 深尾大地氏



ホテルアクセスソリューション 世界のスタンダードと今後の展望

多くのホテル客室に採用されているカードキーシステム。カード錠が通信接続されるIoT化や、スマートフォンをルームキーとして使えるモバイルキーなど、技術の進歩は著しい。グローバルホテルチェーンはこうした最新技術をホテルプログラムの機

能に取り入れ、チェックイン手続きのスマート化やシームレスな宿泊体験の提供など、宿泊客への新たな価値創造に繋げている。ホテル運営のパフォーマンス向上と密接に関わる最新のアクセスソリューションとその可能性を、専門家に聞く。

13時30分～14時30分

プライムコンセプト 常務取締役 林田裕也氏



サービスDX時代を戦う!デジタルで顧客満足度アップ実践対策

コロナ禍が長引き、ホテルや旅館の「おもてなし」は大きな見直しを迫られている。従来通りの接客業務が行いにくい環境の中、現場は限られた人員体制の中で通常業務に加えて感染防止対策も行わなければならない。DXを上手に活用した現場

体制の構築が模索されている。全国600社以上のコンサルティング実績を持つプライムコンセプト(東京都渋谷区)の常務取締役・林田裕也氏が、サービスのDX化に成功した事例とこれからの顧客満足度向上に必要なデジタル技術を提唱する。

13時30分～14時30分

グローバルエージェンツ/ 代表取締役 山崎剛氏



LIVELY HOTELS DX強化の先に見える
新世代ユーザーとの顧客エンゲージメント

2013年からライフスタイルホテルの開発・運営に取り組んでいるグローバルエージェンツ(東京都渋谷区)。現在はユニークなコンセプトを持つ11ホテルを展開し、宿泊客の7割が20代という新世代ユーザーに向けたホテル運営を追求する。この7月、

上位ブランド(アンブレラ・ブランド)として「LIVELY HOTELS(ライブリーホテルズ)」を始動。全ホテル共通のサービス基準を通じた顧客エンゲージメントの強化を進める。その要の一つがDX強化で、PMSやモバイルシステムの自社開発に踏み切った。

15時00分～16時00分

ソラーレ ホテルズ アンド リゾート 代表取締役社長 井上理氏



新規開発と事業再生で14ホテルをオープン
出店加速を支える「緻密」なマネジメント

「ホテル・アンドルームス」や「ランプライトブックスホテル」、「ザ・スクエアホテル」、「チサンホテル」など、多種多様な15のホテルブランドを全国に展開するソラーレホテルズアンドリゾーツ(東京都港区)。昨年6月に立ち上げた事業再生支援

チームが主導する既存ホテルのリブランドに加えて、新規開発による出店計画も推進。2021年は14ホテルをオープンする(年内開業予定の案件も含む)。コロナ禍の最中ながら新規出店を進める背景には、仕組み化が進んだオペレーション体制がある。

15時00分～16時00分

アビリブ 取締役副社長 WEB事業統括 水野真寿氏



2022年観光バブル到来!
WEBブランディング目線の新・戦略方針への備え

コロナ禍で大きなダメージを受けた日本の観光・旅行業界。国民へのワクチン接種が一巡する来年・2022年以降、これまでの反動から旅行需要が一気に盛り上がる事が予測される。その時に向けた準備として、今から着手したいのがWEB

マーケティング・ブランディングだ。旅行に行きたい・泊まりたい意欲をいかに呼び起こすか。そのために何をすべきか。累計5000件以上のWEB制作実績を持つアビリブ(東京都渋谷区)水野真寿副社長に、そのポイントを聞く。